

指定管理者に係る令和4年度事業報告書及び令和5年度事業計画書について (戸 田 公 園)

指定管理者：公益財団法人埼玉県公園緑地協会（令和3年度～令和7年度）

1 令和4年度事業報告書の概要

(1) 管理業務の実施状況

ア ボート競技大会実施の際には、競技団体が定めた新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドラインを遵守し実施した（全日本大学選手権大会をはじめ、年間78件のボート競技大会が開催された）。

イ 毎日、遊具の安全点検を行い、遊具事故の防止に努めた。

ウ 大雨時には、河川管理者である県と密接な連携・指示の下、水位管理を行い洪水の防止及び公園利用者の安全確保を図った。
(水位調整15回)

エ 蓄積されたノウハウとネットワークを活用し、効率的で効果的な運営を行った。

オ 漕艇場の運営を維持するために、関係団体や学生の参加をいただき、水草対策として水草繁茂調査を水草発生時期に年2回実施し、地域とともに公園づくりに努めた。また、アオコ対策として自走式アオコ対策ロボット「アオコウォッチャー」のデモを実施した。

(2) 施設の利用状況

施設名	H30	R1	R2	R3	R4
漕艇場	55,805人	45,870人	15,462人	15,690人	32,555人
集会室	24,929人	21,068人	4,188人	6,328人	13,351人
合宿所	2,300人	1,779人	153人	141人	872人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止期間による休止期間

集会室：令和2年4月8日～6月22日

宿泊所：令和2年4月8日～8月24日、

令和2年12月24日～令和3年3月31日

(3) 収支状況

(単位：千円)

項目	決算額 a	予算額 b	決算額と予算額の比較		備考
			差額 c=a-b	差額の発生理由	
指定管理料	103,826	183,467	△79,641	水草対策費用の減による減	
利用料金収入	3,613	4,179	△566	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための利用制限による減	
その他収入	3,262	2,891	371	自動販売機の売上増による増	
収入合計	110,701	190,537	△79,836		
人件費	31,221	35,207	△3,986	配置人員の職位の差による減	
事業費	75,488	155,330	△79,842	水草対策費用の減による減	
支出合計	106,709	190,537	△83,828		
収支差額	3,992	0	3,992		

[参考] 指定期間における収支決算額の推移 (単位：千円)

項目	令和3年度
収入	109,702
支出	103,807
収支差額	5,895

2 令和5年度事業計画書の概要

(1) 基本的な考え方

公園の特性を活かし「お客様第一の精神」で、次の基本方針のもと管理運営を行う。

- ア ボート競技場の円滑な利用を支える管理運営
- イ ボート競技関係者や地域と連携したボート競技の裾野拡大
- ウ 地域の多様な主体と連携した公園の賑わい創出
- エ ボート競技場の特性を活かした健康づくりの支援
- オ 水辺空間を活用した景観演出
- カ 安全・安心な公園環境の提供

(2) 事業計画

- ア 漕艇場の水位管理
- イ 施設、設備の保守点検・補修
- ウ 園内の巡回、清掃、安全管理
- エ ボートまつりやカヌー教室の開催、飲食サービス、休憩スペースの提供
- オ 水草対策

(3) 収支予算書

(単位：千円、%)

項目	当年度予算額 a	前年度予算額 b	増減額 c=a-b	増減率(%) c/b*100	備考
指定管理料	186,297	183,467	2,830	1.5	
利用料金収入	4,179	4,179	0	0	
その他収入	2,891	2,891	0	0	
収入合計	193,367	190,537	2,830	1.5	
人件費	31,438	35,207	△3,769	△10.7	職位の差による減
事業費	161,929	155,330	6,599	4.2	
支出合計	193,367	190,537	2,830	1.5	
収支差額	0	0	0		

(4) 執行体制【8名】

- 総括責任者(所長) (1) 〈公園の総括責任者として職員を指揮・監督〉
- ├ 指導職員(1) 〈許可事務・利用調整等の総括事務〉
 - ├ 専門職員(4) 〈事業運営の総括〉
 - └ 臨時職員(2) 〈施設管理業務及び利用受付〉

(参考)

○公園の概要

戸田市内の荒川沿いにあり、東京オリンピックで使用された漕艇場を中心に艇庫や観覧席等を設置している。(供用面積35.2ha)

○開設年月日 昭和39年12月1日